

2016年10月11日

～赤い電車イメージで、「京急の伝統」と「先進性」を調和します～ 多言語案内に対応し快適性・利便性向上

京急の主力車両 新1000形（ステンレス車）がマイナーチェンジして登場！

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）では，現在増備している新1000形ステンレス車の2016年度新造車として登場する車両が，マイナーチェンジを施しデビューいたします。

今回マイナーチェンジしてデビューするのは，6両編成2本と8両編成2本で，6両編成はおもに普通や急行として，8両編成は急行から快特，また都営浅草線直通列車や快特まで幅広い運用に対応いたします。車体側面は，昨年度デビューした新1000形4両編成の1800番台で意匠変更を行った，“幅広の赤と窓まわりを白色”でデザインすることにより，京急の伝統である「赤い電車」のイメージを踏襲いたします。

基本仕様（車両長，扉数），基本性能，バリアフリー設備などは，従来の新1000形と同様ですが，お客さまの快適性向上を目的に，座席にはドア横に立たれるお客さまとの干渉を防ぐ大型の袖仕切りを設置するとともに，車端部の片側をボックスシートに変更し，同座席にはお客さまがご自由にご利用いただける「サービスコンセント」を2口設置いたします。

また，車上情報装置（LCD）をすべてのドア上に設置し，さらに多言語対応のLCDを交互に追加設置（千鳥配置）することで，従来のサービスを低下させることなく多言語案内に対応いたします。省エネ対策もさらに推進し，室内灯をはじめ，標識灯（急行灯）車側灯のLED化とともに，当社では初となるLED前照灯（ヘッドライト）も導入いたします。

京急電鉄では，輸送サービスの高付加価値化と快適な移動の実現で，住みやすい魅力ある沿線を目指してまいります。詳細は別紙のとおりです。



車体側面は1800番台に準拠し、「赤い電車」のイメージを踏襲

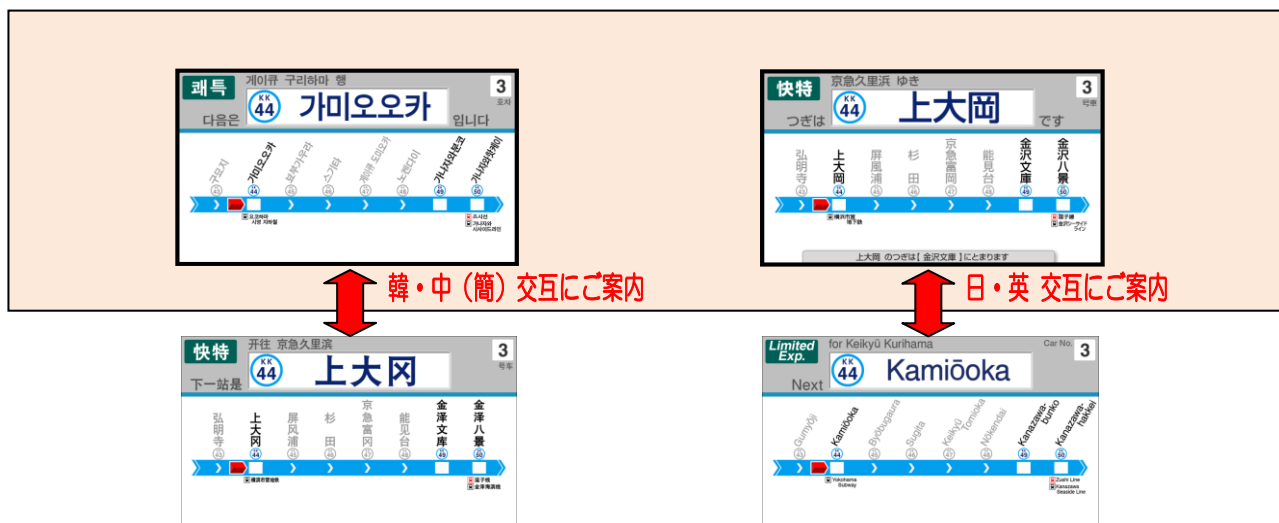


袖仕切りの大型化や，車端ボックスシート導入で快適性が向上

新 1000 形 (16 次車) マイナーチェンジ車両の導入について

1. 導入予定
 - 6 両編成 2016 年 11 月 (予定)
 - 8 両編成 2017 年 2 月 (予定)
2. 車両数
 - 6 両編成 2 本 12 両
 - 8 両編成 2 本 16 両
3. 仕様
 - (1) 基本仕様
 - イ. 車両長さ、扉数などは、従来の新 1000 形と同様です。
 - ロ. 車体側面デザインは、新 1000 形 1800 番台に準拠いたします。
 - ハ. 当社初となる LED 前照灯 (ヘッドライト) を導入いたします。
 - (2) 快適性向上
 - イ. 連結面車端部座席の片側を、ロングシートから 2 人掛け補助イス付きの 4 人掛ボックスシートに変更いたします。
 ※新 1000 形ステンレス車において、ボックスシートは初導入です。
 - ロ. ロングシート部の袖仕切の大型化で、ドア前にお立ちのお客さまとの干渉や、厳寒時のドアからの風の吹き込みを和らげます。
 - (3) 利便性向上・バリアフリー設備
 - イ. ボックスシート部に、サービスコンセント 2 口を設置いたします。
 - ロ. 客室ドアは視認性向上ラインを印刷した化粧板に変更いたします。
 - ハ. 日本語・英語に対応した、車上情報装置 (LCD) をすべてのドア上に設置いたします。(各車両 6 台)
 - ニ. 中国語・韓国語に対応した、車上情報装置 (LCD) をドア上に交互に (千鳥配置) で追加設置いたします。(各車両 3 台)

車上情報装置 表示イメージ



韓国語・中国語案内 (各車両ドア上交互配置)

日本語・英語案内 (各車両全ドア上配置)